



発行日:平成25年10月 1日

発行者:市原市更級5丁目 1-51

市原市立中央図書館
よくよむ

TEL 0436 (23) 4946

<http://www.library.ichihara.chiba.jp>

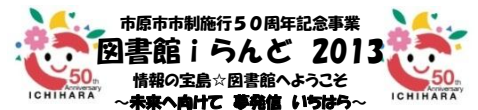
図書館^{あい}iらんど 2013 開催!!

読書の秋がやってきました。中央図書館では今年も“図書館iらんど”を開催します。

今年は市原市が誕生して、50周年という記念の年です。そこで今一度、市原市の歴史を振り返っていただくために、イベントの内容も市原市にゆかりのある内容のものを多く実施します。

みなさん、この秋は中央図書館に足を運んでいただいて、私たちの市原市のことを学んでください。

詳しくは内面のイベント内容をご確認ください。



本あれこれ〔第九回〕

「本がとどくまで」



今、みなさんが手に取った本は、いったいどうやってここにやってきたのでしょうか。

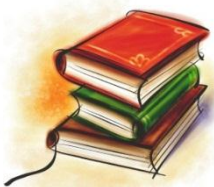
本にかかわる仕事は、大きくわけて二つあります。ひとつは本をつくる仕事です。もうひとつは本を販売する仕事です。ひとつめの本をつくる仕事には、まず作品を書く著者がいます。そしてその作品を本にするために出版社の編集者がいます。著者と編集者は二人三脚で本をつくります。そして、著者の原稿をチェックする校正者、本の表紙をつくる装丁家、挿絵画家等々、さまざまな専門家が一緒になって本という一つの作品をつくりあげます。

できあがった本は、ふたつめの本を販売する人々に託されます。出版社から預かった本を、取次業者が書店に配本します。そして書店に本が並び、私たちの手に届くのです。

こうして毎年たくさんの本が出版されています。昨年は八二、二〇一点の新刊書が発売されました。本は委託販売のため、売れなかった本は最後には出版社に返本されることとなります。様々な人の手を経てやっと完成した本の約四割が、やがて出版社に返されると言われています。

そんな書店で見かけなくなった本は、もしかしたら図書館でなら出会えるかもしれません。近所の図書館になくても、他の図書館に所蔵されていれば借りることができます。すべての本を一つの図書館で購入することはできませんが、図書館同士で協力し合い分担しながら本を保存し、必要な人に提供できるしくみがあります。図書館とはたくさんの人の思いが詰まった本が、最後にたどり着く場所かもしれません。いつか誰かに必要とされるために、大切に保存しています。

(M)



《図書館 i らんど2013》 イベントスケジュール



10月19日(土)～11月13日(水)

10月

19
歴史講座
「小湊鐵道と
共に生きる」
講師：遠山あき
・要事前申込み

日	月	火	水	木	金	土
20 子どもと 読書講座 科学あそびに チャレンジ！ ※申込みは 締め切りしました。	21 休館日	22	23 本の修理と カバー貼り お見せします！ 玄関ロビーにて ①午前10時30分 ②午後2時 ③午後4時	24	25 スペシャル おはなし会 キックオフ ジェフユナイテッド の選手による おはなし会 午後4時20分から	26 スタンプ3倍Day！
27	28 休館日	29	30 大人のための おはなし会 「絵本で味わう 人生劇場」 午後2時から 先着50人	31 月末図書 整理日	1	2 映画会 「長ぐつを はいたネコ」 午後2時から
3 映画会 「だれもが クジラを 愛している」 午後2時から	4 休館日	5	6 おはなし会 おはなし会 スタンプカード 3倍Day！ 午後3時から	7	8	9 
10 本と雑誌の リサイクルフェア 図書館で利用しな くなった図書・雑誌 をお分けします。 午前9時30分から 午後3時まで	11 休館日	12 	13 子ども読書活動 推進フォーラム 「聞いてたのしい」から 「読んでたのしい」へ 午後0時30分から 3時30分まで 会場：youホール	期間中の展示等 ・教科書で振り返る50年 1階展示架 ・映像で振り返る市原 2階ロビー 10月29日(火)／30日(水)／11月1日(金) 各日午前10時・午後1時・3時 ・50年のあゆみ展 1階 中央通路 ・小湊鐵道郷愁 2階 ロビー		

※詳しい内容や時間などは、館内設置のちらし・ポスターをご覧ください。

“図書館 i らんど2013” 映画会上映候補作品投票結果のお知らせ

皆さまにご協力をいただきました映画会上映作品候補
投票の結果は右表のとおりです。

○投票期間：8月2日～8月27日

○投票人数：212人 ※選択1作品のみの票あり

○上映決定作品 ※上位2作品を上映作品とします。

★ 長ぐつをはいたネコ

★ だれもがクジラを愛している

上記の2作品は“図書館 i らんど 2013”内(上記の

スケジュールをご覧ください)に上映いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。

ご協力ありがとうございました。

候補作品名	得票数	順位
長ぐつをはいたネコ	126票	1
だれもがクジラを愛している	79票	2
ヒューゴの不思議な発明	65票	4
インビクタス/負けざる者たち	17票	6
バッテリー	53票	5
はだしのゲン(第1作)	76票	3

定例 毎月第1・第3水曜日
午後3時から集会室にて

その他 スペシャルおはなし会
不定期開催

おはなし会に参加して スタンプを貯めよう!



～おはなし会にスタンプカードができました～

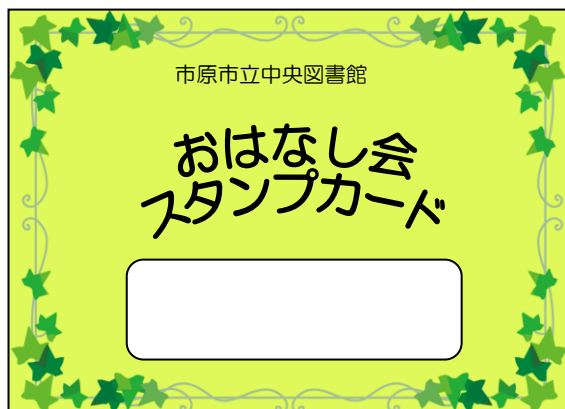
中央図書館で開催しているおはなし会に、スタンプカードができました。
毎回、季節やテーマに合わせた絵本や紙芝居を中心に20分～30分のプログラムを構成して実施しています。
スタンプカードを持って、おはなし会に通ってみませんか?

～スタンプのあつめかた～

おはなし会終了後に、スタンプカードの発行とスタンプの押印を行います。既にお持ちの方は、カードを持っておはなし会にご参加ください。

定例おはなし会	スタンプ1個
その他のおはなし会	スタンプ3個

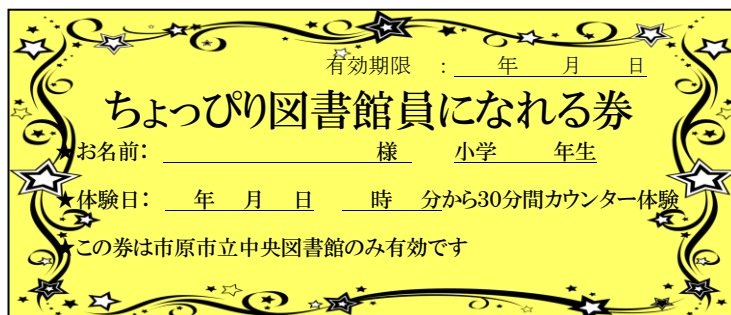
スタンプが10個たまるとプレゼントと表彰状がもらえます。さらに小学校4～6年生の方には、「ちょっぴり図書館員になれる券」を発行します。



～ちょっぴり図書館員になれる券～

カウンターでの本の貸出・返却や返架など、図書館のお仕事体験ができます。1人30分・事前予約が必要です。

※業務に支障がある場合、7月～8月の繁忙期、及び休館日は体験をお受けできませんのでご了承ください。



～スペシャルおはなし会ってなに?～

定例のおはなし会とは別に、映画会とのコラボなど様々なおはなし会を実施しています。10月19日から始まる“図書館いランド”でも開催するので、ぜひ参加してみてくださいね。

～おはなし会は何回目?～

第一回のおはなし会は平成4年7月。そして10月16日でおはなし会は500回目を迎えます!

おはなし会あれこれ

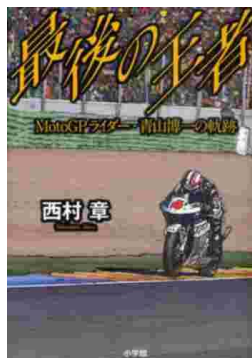
定例おはなし会のある日

10月2日・16日
11月6日・20日
12月4日・18日



市制50周年記念企画・いちはらの本を知ろう②人物編

風を切れ！風になれ！



『最後の王者』
Motogpライダー
・青山博一の軌跡』
西村章/著 小学館
ジンジンと伝わる“熱いレース展開”と“ライダー達の走るための闘い”。がんばれヒロ！市原出身、世界最速のレーサー。

計算か天然か？！

『不思議ちゃん』

千秋/著 宝島社

「大きくても小さくても、夢を作っては叶えていく」それが芸能界だけではなく、子供服デザイナーとしても活躍する彼女の生き方。あの独特なキャラが育った市原での幼少期から40歳の今まで。



93歳 最高齢助産師が五井に！

『生まれてくれて

ありがとう』

林むつ/著 徳間書店

1万人以上の赤ちゃんをとりあげた彼女の言葉。その一つ一つがもう一度私達に“いのち”について考えさせてくれます。



日本の点字の父・石川倉次



『闇を照らす六つの星』

小倉明/著 汐文社

鶴舞藩出身の倉次の生い立ちと、日本点字の開発過程が物語としていきいきと描かれています。

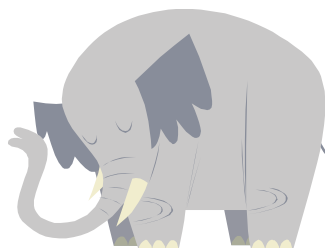
小学校高学年から。

大正時代にタイムトリップ

『房総町村と人物』多田屋書店

当時の千葉県内各町村の沿革・産業・交通などの総説と、地域の人物・有志が掲載されています。人物の紹介文には「令名嘖嘖」「徳望愈愈高し」なんて言葉も！

番外編・象のゆめ花



『夢 ゆめ花の画集』 市原ぞうの国

先日、妹が生まれたアジア象のゆめ花ちゃん。彼女が器用に鼻で筆を持ち、描いた絵やお習字の作品集です。何を思っって描いているのかな。想像してみよう。

中央図書館利用案内

*開館時間

午前9時30分～午後5時

※水・金曜日は一般開架室のみ午後7時まで
ただし祝日の場合は除く

※児童室・視聴覚カウンターは全日午後5時まで

*休館日

毎週月曜日

月末図書整理日※月の最後の平日
特別整理期間

年末年始(12月29日～1月3日)

*貸出冊数・貸出期間

図書・雑誌10冊まで

視聴覚資料 2点まで いずれも2週間

*初めてカードを作るには

住所・氏名の確認できるもの(運転免許証や保険証等)をお持ち下さい。